

平成30年4月12日

保護者の皆様へ

国頭村立辺土名小学校
校長 宮城 尚志
(公印省略)

はしか（麻しん）に係る対応等について

春陽の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨日までの県内のはしか(麻しん)の患者数が38人となり、感染が広がっているとの報道がされております。名護市においては7人が確認され、那覇市に次いで2番目に多い数字となっています。国頭村においても本日、感染者が確認されました。報道等からもわかるように、はしか(麻しん)は、感染力が強く、手洗いやうがいで予防することはできません。感染しないためには予防接種が重要ですが、2回目(小学校入学前)の予防接種を受けていない子どもは、1回目(1才時)の接種による免疫力が低下していることが危惧されます。

つきましては、当面の間、下記のことにご留意下さり、はしか(麻しん)の感染拡大の防止にご理解、ご協力をお願いします。

記

- 1 はしか(麻しん)への感染が疑われるような症状(下記参照)、例えば、風邪に似た症状(発熱、せき、鼻水、目の充血など)や発しんのある児童生徒は、出席停止とします。登校はさせずに自宅等にて体調観察をお願いします。(欠席にはなりません) また、感染者のご家族などで2回目の予防接種を受けていない場合も、感染する可能性が高いため、同様とします。
- 2 登校後、上の症状が見られた場合は、保護者に連絡後、下校させることもあります。
* 登校時(門等)に見られた場合は、その場で下校してもらうこともあります。
- 3 登校前には、家庭で検温を行うなど体調確認をお願いします。
- 4 ワクチンを2回(第1期:1才、第2期:入学前)接種していない児童生徒については、その連絡が村福祉課保健センターより届きます。速やかな接種へのご協力をお願い申し上げます。接種料金については中学生まで全額村が負担します。
- 5 不要な外出は控えて下さい。特に人混みには行かないようにして下さい。
- 6 20~40代の成人に多く見られる感染症になっています。児童生徒への対策と同時に保護者やご家族の対策もよろしくをお願いします。

※万一罹患した場合 (罹患:病気にかかること)

- ①必ず学校へ連絡して下さい。
- ②解熱後3日を経過するまで出席停止とします。
- ③はしかが疑われる場合についても出席停止とします。
- ④公共交通機関の利用は控えて下さい。

はしか(麻しん)

- 感染すると10~12日(約2週間)後に、発熱やせき、鼻水、目の充血など、かぜのような症状が出ます。一度熱が下がった後、再び高熱と全身に発しんがでます。
- 症状が出る2日前から、発しんが消えてから4日後または熱が下がって3日後までは人へ感染させる力があります。